

屋内温水プールの整備等に関する  
サウンディング型市場調査  
実施結果

令和8年4月

蒲郡市教育委員会 スポーツ推進課

# 1 調査の概要

## (1) 調査の名称

屋内温水プールの整備等に関するサウンディング型市場調査

## (2) 調査の目的

蒲都市では、学校のプール施設については廃止（使用停止）し、屋内プール施設（民間プール施設・新規プール拠点（東・西 2 拠点））を活用し、小中学校の水泳授業を実施することとしています。また、新規プール 2 拠点のうち、いずれかの 1 拠点を一般市民と水泳授業の両方の利用に配慮した屋内温水プールとして整備する方針としています。

屋内温水プールの整備に際し、民間活力を活用したいと考えており、より幅広い視点・分野における事業手法や建設予定地を踏まえた整備内容を検討するため、サウンディング型市場調査を実施しました。

## (3) スケジュール

内容	日程
実施要領の公表	令和 8 年 1 月 2 7 日
現地見学会の開催	令和 8 年 2 月 6 日
サウンディングの実施	令和 8 年 3 月 1 7 日～ 2 4 日

## (4) 参加団体

1 3 団体

※一部複数社のグループで参加していただきましたが、集計の関係上 1 団体として計上しています。

## (5) 調査項目・実施方法

事前にご回答いただきましたヒアリングシートをもとに、個別に対話形式（対面・リモート）により主に以下の点について調査を実施しました。

- 1 事業参画への意向（業務範囲、参画形態）について
- 2 25mプール整備（競技公認不要）を必須条件とした公民連携による事業内容や手法、スケジュール、事業費等について
- 3 年齢や障がいの有無に関わらず誰もが気軽に利用できるプール設備、利用形態、スポーツ支援等について
- 4 専門インストラクターの配置とバス送迎を含む市内小中学校の学校水泳授業の受託等について
- 5 プール運営事業の採算性及びプール以外の機能（例：トレーニング施設、温浴施設等）について
- 6 ゼロカーボンに資する設備の導入や取組みについて
- 7 その他施設の魅力向上に資する取組みについて

## 2 調査の結果

### (1) 事業参画への意向(業務範囲、参画形態)について

#### ア 参画意向

参画意向	団体数
参画に関心がある	8
条件次第で参画に関心がある	5
参画への関心は低い	0
現時点では判断できない	0

#### イ 業務範囲

【複数回答】

業務	団体数
統括管理業務	2
設計業務	3
建設業務	1
運営業務	8
維持管理業務	1
その他	2

#### ウ 参画形態

【複数回答】

業務	団体数
代表企業	2
構成員	8
その他	6

### (2) 公民連携による事業内容や手法、スケジュール等について

#### ア 事業内容

##### ○事業内容

・類似施設の整備・運営の知見をもとに、本事業における様々なアイデアや留意点などについて意見交換をしました。

##### ○近年の動向等

・近年の工事費、人件費、光熱費等の増加に伴う事業への影響（入札不調等）についての意見を多くいただきました。

## イ 事業手法

【複数回答】

事業手法	適性が高い	適性が低い
従来方式・公設民営方式	4	6
民設民営方式	-	1
DB 方式	2	2
DBO 方式	7	2
PFI 方式	3	4
BTO 方式（PFI 法に則らない）	1	-

- ・設計に運営側の意見を反映することができる点を評価し、PFI 方式や DBO 方式の適性が高いとの回答が多くありました。また、事業規模等を勘案すると PFI 方式よりも DBO 方式の方が参入検討をしやすいとの意見を複数いただきました。
- ・従来方式・公設民営方式は適性が高いという意見が 4 団体からあった一方で、適性が低いとの意見を 6 団体からいただき、評価が分されました。

## ウ 事業スケジュール

- ・想定する事業手法等により差異がありましたが、設計 8～13 月、建設 10～24 月、開場準備 2～6 月程度必要との意見がありました。
- ・維持管理・運営期間は一括発注を想定した場合 15～20 年程度、分離発注で指定管理を想定した場合 5 年程度（またはそれ以上）との意見がありました。

## エ 事業費

- ・近年の類似施設の施設整備費・維持管理費の動向を伺いました。
- ・建設費、維持管理費（主に人件費、光熱水費）の高騰の影響を考慮した上で、現実的な事業費の積算が必要であるとの意見をいただきました。
- ・物価スライドの適用など事業者のリスク軽減を求める意見がありました。

## (3) 気軽に利用できるプール設備、利用形態、スポーツ支援等について

### ア プール施設について（施設規模・水深の設定・付帯設備など）

- ・25m プールのレーン数については 4～9 レーン程度必要であるとの意見であり、実際の運用方法をどのように想定するかにより必要数に大きな差異がありました。
- ・学校水泳授業としての適切な水深に関する意見に加え、各種水深調整方法（稼働床、水深台など）のメリット・デメリットについての意見をいただきました。
- ・幼児用プール（専用プールまたは 25m プール内）の設置に関する意見をいただきました。
- ・観覧室や冬季の利用に関連する設備（ジャグジー、採暖室等）に関する意見をいただきました。

## イ 幅広い市民の利用の受入について

- ・入水用スロープ、多目的トイレ、多目的更衣室などバリアフリーに関する意見、夏季の屋外プールや遊具（すべり台等）設置に対する意見をいただきました。
- ・学校水泳授業と一般の同時利用をする場合における子どもと大人の動線分離等に対する意見をいただきました。

## (4) 市内小中学校の学校水泳授業の受託等について

### ア 学校水泳授業の受託

- ・運営事業者のすべてが、「受託できる」または「条件付きで受託できる」との回答でした。
- ・「条件付きで受託できる」とした運営事業者の多くはバス送迎の受託が課題であるとのことでした。

### イ 休日部活動の実施

- ・条件にもよりますが、すべての運営事業者から実施に対して前向きな意見をいただきました。

## (5) プール運営事業の採算性及びプール以外の機能について

### ア プール運営事業の採算性

- ・学校水泳授業での利用による一般利用の制限や、立地・周辺環境の観点から、プール運営事業者のほとんどが「採算性を確保できない」との回答であり、一定程度市が費用を負担することを求める意見が多くみられました。

### イ プール以外の機能について

- ・トレーニング室、スタジオ、温浴施設などのご提案をいただきました。
- ・トレーニング室、スタジオは、一定のインシャルコストがかかるが、教室の実施などにより、集客に寄与するとの意見が多くみられました。
- ・温浴施設は、一定の集客が見込まれるといった肯定的な意見もありましたが、整備費・維持管理費ともに高額な上、安全管理上のリスクが高いため不要であるとの意見が多くみられました。

## 6 ゼロカーボンに資する設備の導入や取組みについて

- ・建物の断熱性向上や熱源、再生可能エネルギーの利活用などの意見をいただきました。
- ・屋内温水プールにおける ZEB Ready 基準達成の困難さ、インシャルコストの増大に関する意見をいただきました。

## 7 その他施設の魅力向上に資する取組みについて

- ・施設の愛称募集や教室・イベント開催など様々なご意見をいただきました。

## 8 社名の開示

社名の開示をご承諾いただいた参加者は以下のとおりです（五十音順）。

アイレクススポーツライフ(株)	(株)アクアティック	(株)阿波設計事務所 名古屋支店
光伸(株) 名古屋営業所	(株)コパン	シンコースポーツ(株) 名古屋支店
(株)スポーツプラザ報徳	大和リース(株) 名古屋支社	(株)東京アスレティッククラブ
(株)日総建 中部事務所	ミウラ化学装置(株)	(株)三橋設計 名古屋事務所

## 3 問合せ先

蒲郡市教育委員会 スポーツ推進課 （三浦、小林）  
〒443-0048 蒲郡市緑町 3 番 69 号（蒲郡市民体育センター内）  
TEL : 0533-66-1222  
E-mail : sports@city.gamagori.lg.jp